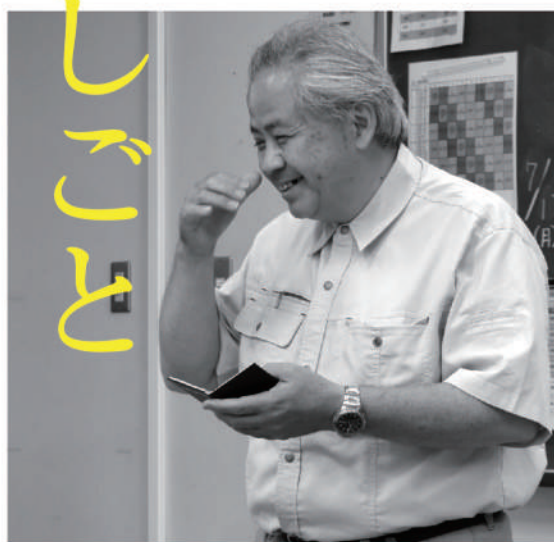


“Within Roles, A Life”



2026年9月12日(土) - 10月24日(土)

休館日：毎週月曜日（祝休日は開館し翌火曜日休館。ただし、9/21・22・23は開館し翌木曜日休館）

開館時間：午前9時30分～午後5時（入館は午後4時30分まで）

会場：高梁市成羽美術館（1階多目的展示室、静水の庭ホール）

観覧料：無料ただし、静水の庭ホールを鑑賞の場合、同時開催の星野道夫展観覧チケットが必要
（一般・シニア 1,300円、高大生 800円、小中生 600円）

主催：高梁市成羽美術館

共催：岡山県、おかやま県民文化祭実行委員会、（公社）岡山県文化連盟、岡山県立高梁城南高等学校



高梁市成羽美術館
NARIWA MUSEUM

〒716-0111 岡山県高梁市成羽町下原 1068-3
TEL：0866-42-4455 FAX：0866-42-4451 <https://nariwa-museum.jp/>

わたしたちのしごと ボクたちのいきかた

— 高梁城南高校に勤める6名が描く
教師としての私と、表現者としての僕

Featured Artists — 出展アーティスト



安藤 昌也 ANDO Masaya

1965年岐阜県生まれ。
岡山大学教育学部卒業。
2年間の中学校講師ののち、岡山県立岡山工業高等学校デザイン科教諭として着任。以降岡山県内デザイン科の教員として転任が続く。高梁工業高校、弓削高校、津山工業高から2度目の岡山工業勤務を経て高梁城南高校へ赴任し現在に至る。



大間 光記 OMA Mitsunori

1981年愛知県生まれ。
金沢市立美術工芸大学大学院修了。
石を中心とした彫刻作品を制作。身体を通して素材と向き合い、人と自然との関係性や素材との対話の中に生まれる痕跡、時間の蓄積、その「あわい」に立ち現れる形を見つめながら制作を続けている。国内外のアートプロジェクトに参加している。



小林 弘幸 KOBAYASHI Hiroyuki

1987年岡山県生まれ。
沖縄県立芸術大学大学院修了。
「記憶の記録」や「事実と真実」などをテーマにAI画像生成や3Dプリンターなど先端テクノロジーを併用した制作を行う。主な展示として「Redraw Tragedy」(ドイツ・ボン) そのほかニューヨーク、台北など国内外で精力的に発表を行っている。



平井 はな HIRAI Hana

1989年岡山県生まれ。
愛知県立芸術大学大学院修了。
白磁を中心に陶磁器による作品を制作している。水の作り出す形状やイメージ、植物などの自然物を主なモチーフとして表現している。主な展示として「YUKA UJI 平井はな 宮尾早央里作品展」がある。



河原 英利 KAWAHARA Hidetoshi

1963年岡山県生まれ。
岡山大学教育学部卒業。
人物像を中心に主に「おかやま彫刻会」にて作品を発表。現在は木芯乾漆像をヒントに様々な現代的な素材に置き換えた着彩の彫刻作品を制作。奈義町現代美術館で行われた岡山現代彫刻の断片 vol.2 <具象・人と動物の物語>に参加。



横山 瑞歩 YOKOYAMA Mizuho

1993年岡山県生まれ。
岡山大学大学院修了。
古代から存在する生き物に魅力を感じ、女性と組み合わせ油絵を制作してきた。時間の流れや、それに伴うやるせなさを表現している。公衆団体の一陽会に所属し、岡山県天神山文化プラザなどで毎年作品を発表している。

県立高校で日々教育に携わる6名の教師による展覧会「わたしたちのしごと ボクたちのいきかた」。

日々の教室での営みと、制作に向き合う時間は、明確に分けられるものではなく、ゆるやかなグラデーションのなかで繋がっています。生徒と交わす言葉や、積み重ねられていく経験は、そのまま作品として表れるわけではありません。しかし、日常の中で生まれる小さな発見や思考の揺らぎは、時間をかけて作家自身の感覚にしみ込み、作品として形づくられていきます。本展では、絵画、彫刻、現代アート、陶芸、プロダクトデザインなど、多様な表現を通して、その営みの一端を紹介します。教えることと表現すること、その双方に向き合い続けるなかで生まれる作品には、それぞれの視点や感覚、社会との距離感が静かに刻まれています。「しごと」と「いきかた」が重なり合う場所から立ち上がる表現を、それぞれの視点で感じ取っていただければ幸いです。

Access — アクセス



- JR 岡山駅から伯備線〈特急やくも〉約35分、〈普通〉約50分、備中高梁駅下車。バスセンターから成羽方面への備北バス約20分、「成羽」停留所下車、「たいこまるプラザ」隣
- 山陽自動車道・倉敷ICまたは笠岡ICから約50分
- 岡山自動車道・賀陽ICから約30分、岡山総社IC、有漢ICから約40分
- 中国自動車道・北房ICまたは新見ICから約50分
- 岡山空港から車で約60分

高梁市成羽美術館 NARIWA MUSEUM

〒716-0111 岡山県高梁市成羽町下原 1068-3
TEL : 0866-42-4455 FAX : 0866-42-4451
<https://nariwa-museum.jp/>



岡山県立高梁城南高等学校
TAKAHASHI JONAN HIGH SCHOOL

〒716-0043 岡山県高梁市原田北町 1216-1
TEL : 0866-22-2237 FAX : 0866-22-0590
<https://www.jonan.okayama-c.ed.jp>



Events — 関連イベント

◆ アーティストトーク

- ・大間 光記、小林 弘幸
9月19日(土) 13:00—
- ・安藤 昌也、河原 英利
10月3日(土) 13:00—
- ・小林 弘幸 × 北條大直 〈クロストーク〉
10月17日(土) 13:00—

予約不要、無料
※1Fミュージアムショップからお入りください

◆ 高校生による作品紹介

高梁城南高校デザイン科に通う生徒による作品紹介を行います。日頃接する生徒からの目線で日常の指導や学校生活、普段あまり目にするものがない先生の作品について感じたこと思ったことを解説します。

9月26日(土) 10:30—

予約不要、無料
※1Fミュージアムショップからお入りください

◆ ワークショップ

高梁城南高校の先生と
「オリジナルトートバッグ」を作ろう!

10月10日(土) ① 10:30—
② 13:00—

対象: 小学生以上 ※各回先着15名
料金: 1,500円

※詳細は成羽美術館 HP をご覧ください

同時開催

星野 道夫

悠久の時を旅する

「児島虎次郎古代エジプトコレクション」
「成羽の植物化石」もご覧いただけます。

本展に関わるチラシ、ポスターは
岡山県立高梁城南高等学校の先生が制作しました。